

No. **350**
SUMMER 2025

YASKAWA NEWSは
お客さまと安川電機を結ぶPR情報誌です。

YASKAWA NEWS

特集1
p2

関西支店、始動!

特集2
p4

「FOOMA JAPAN 2025」 出展案内

特集3
p6

展示会出展レポート

「第9回スマート工場EXPO」 「第20回[国際]太陽光発電展」

p9 新製品

Σ-Xシリーズ 400V入力仕様を発売

p10 トピックス

安川電機とアステラス製薬 細胞医療製品の製造プラットフォームの
開発および提供を行う合併会社設立に関する契約締結について

MECHATROLINK協会 2025年度総会開催案内

MECHATROLINK協会「第10回 機械要素技術展[名古屋]」出展報告

p13 コラム

陸上部NEWS

関西支店、始動!

当社は関西地区の営業・サービス・教育拠点(大阪支店、関西サービスセンタ、関西ロボットスクール)を統合・再編し、安川グループの総合力を発揮できる拠点として関西支店を設立、3月3日(月)に新たなスタートを切りました。営業・サービス・教育の各機能が一体化され、ワンストップでのYASKAWAソリューションの提供が可能となります。

関西支店の建屋は地上8階建て、延べ床面積は7,588m²です。新たな関西支店は、お客さまが求める「コト」と真摯に向き合う空間をコンセプトとしており、安川電機が推進するi³-Mechatronics(アイキューブ メカトロニクス)を軸に、お客さまやビジネスパートナーと新たな価値を創出することを目指しています。

1階にはロボットのソリューションテスト(お客さまのワークを使っの動作検証)や展示を目的とした「MOTTO ROBOSTATION」(もっとロボステーション)があり、人協働ロボット5台、産業用ロボット8台を常設しています。ここではソリューションテストの支援やロボットの操作体験を提供し、お客さまのロボット導入をサポートします。サービスセンタも併設しており、セールスと連携したサービス向上を実現しています。

2階の「Y'dea PLAZA」(ワイデアプラザ)は、OTからITまで広く安川電機のi³-Mechatronicsソリューションを紹介する共創エリアです。安川グループはもちろん、i³-Mechatronics Clubやパートナー企業の製品やサービスも紹介し、お客さまの課題に対する様々なアプローチを提供します。

3階のスクール会場では、ロボット、モーションコントロール、インバータの各スクールが設置されています。定期開催の講座はもちろん、個別の教育要望にも柔軟に対応していきます。

4階はコラボレーションを重視したエリアで、コミュニケーションを目的としたリラックススペースや、アプリケーション検証や実証実験を行うことができるラボが設けられています。当社のロボットやコントローラなどの開発環境を活用し、お客さまやSier、ITベンダー、各種パートナーメーカーとの協業取組を促進します。

7階はゲストをお迎えする応接室・会議室のフロアで、150名を収容できる「DIAMOND HALL」(ダイヤモンドホール)を始め、多数の会議室を準備しております。

今後、関西支店の様々な機能を活用して、プライベート展示会や各種セミナーなど、お客さまやビジネスパートナーを招待したイベントを多数計画しています。進化した当社関西支店に皆様是非お越しください!

住所: 〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町一丁目1番15号



● お問い合わせ先: 営業本部 西部営業部 TEL: 06-6480-8531

食を大変革^{3rd}

FOOMA JAPAN 2025 出展案内

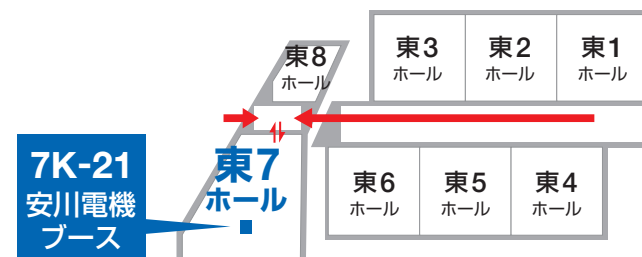
2025年6月10日(火)～13日(金)の4日間、東京ビッグサイトにて世界最大級の食品製造総合展「FOOMA JAPAN 2025」が開催されます。

当社ブースでは、「食を大変革」をテーマに出展し、当社のソリューションコンセプト「i³-Mechatronics」のもと、人手不足、食品の安全・安定供給、フードロス削減など食品製造現場の課題を解決する様々なソリューションをご提案いたします。

当社のみならず、安川グループのコア技術を結集し、サステナブルな社会の実現に貢献する取組みをご覧ください。

当社ブースへ是非お立ち寄りください。

会 期 2025年6月10日(火)～13日(金)
10:00～17:00
会 場 東京ビッグサイト 東1～8ホール
安川電機ブース小間番号：7K-21(東7ホール)
主 催 者 一般社団法人 日本食品機械工業会
U R L <https://www.foomajapan.jp/>
※来場には事前登録が必要です。
主催者サイトよりお申し込みください



出展コンセプト

安川グループが提供するシステムインテグレーションでサステナビリティを実現する「大変革」

新たな産業自動化革命の実現 データ活用によるメカトロニクスの進化 i³-Mechatronics アイキューブ メカトロニクス

安川グループの力を結集し、お客さまをサポート

株式会社 安川電機

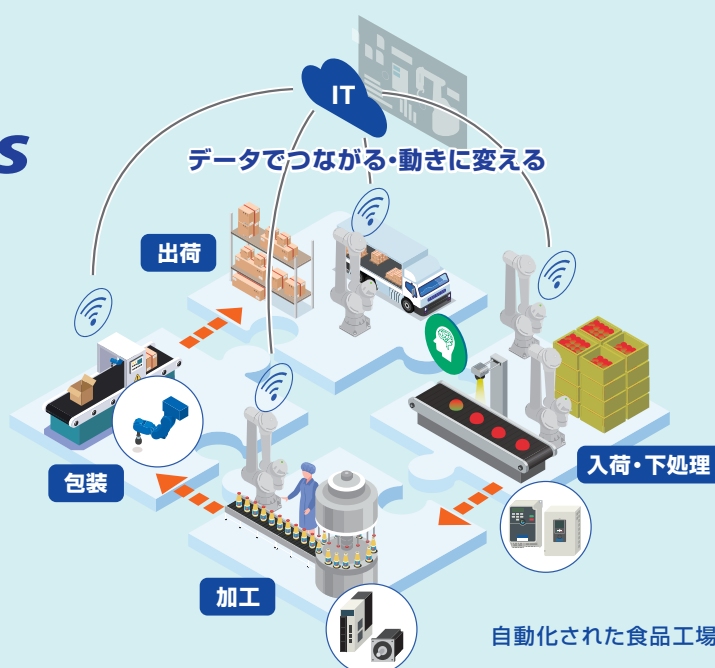
メカトロニクスを軸とした「工場の自動化・最適化」

株式会社 アイキューブデジタル

データ活用で工場自動化を支援する「デジタルシステムインテグレータ」

株式会社 FAMS

「農の工業化」「食の生産自動化」を推進する「システムインテグレータ」



主な出展製品・ソリューション

食を大変革する i³-Mechatronics

設備稼働情報を収集し
製造効率化を支援する
設備監視システム
「Y's-SF Equip」



工場DXを始めるなら、
生産計画の見直しから
生産スケジューラ
「Y's-SF Scheduler」



食品製造工程で安定稼働するロボットセル
食品仕様ロボット
「MOTOMAN-GP8」

- 耐洗浄性向上などサニタリー性を確保した食品仕様ロボットを活用し、ロボットセルが蓋閉め
- 全数を検査に加え、設備監視システム連携により設備総合効率を管理



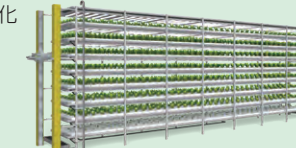
「未自動化領域」の自動化へ挑むロボット
自律ロボット
「MOTOMAN NEXT」

- 「判断力」と「作業力」を備えた自律ロボット
- 「ロボットに合わせる」常識を覆し、製造するモノや設備をロボットに合わせるのではなく、「ロボットがモノに対応」することを実現

食の安全と安定供給を実現するシステムパッケージ

コア技術を結集した完全人工光型植物工場システム
植物工場システム「アグリネ」

- 野菜1株を一つの栽培コマで管理し、播種から収穫まで自動化
- 栽培環境を最適に制御



豊富なラインアップ、進化を続けるパッケージ
人協働パレタイズシステム「CoboPal」

装置の高精度化、省エネに貢献するコンポーネント

進化を加速するモーション×デジタルデータソリューション
ACサーボドライブ Σ-Xシリーズ

i³-Mechatronicsを実現するコントローラ
YRM1010/MPX1310

カーボンニュートラルは省エネからはじめませんか？
安川インバータ&PMモータ



● お問い合わせ先：営業本部 食品営業部 TEL: 03-5402-4579

展示会出展レポート

第9回 スマート工場 EXPO SFE IoT/AI/FAによる 製造革新展

第9回 スマート工場EXPO
2025年1月22日(水)～24日(金)
会場／東京ビッグサイト
主催／RX Japan 株式会社
ホームページ／<https://www.fiweek.jp/tokyo/ja-jp/about/sfe.html>

スマート工場・スマート物流を実現するためのIoTソリューションやAI、FA/ロボットなどの最新技術・ソリューションが一堂に会する展示会「第9回 スマート工場EXPO」が1月22日(水)～24日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催されました。

当社ブースでは、「i³-Mechatronicsによるスマートなもののづくりの実現」をテーマに、生産能力・品質の向上や人材不足の解消といった経営課題(コト)を解決するソリューションをご紹介します。i³-Mechatronicsで実現するスマート工場の

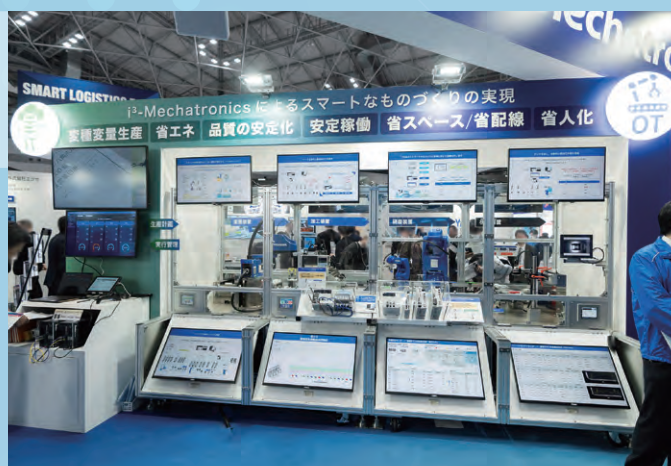
姿、そして生産現場の革新的なデータ活用について、事例も交えながらご提案しました。また、自動化技術とIoT/AIを活用したソリューションについて、グループ企業の(株)アイキューブデジタルや、パートナーシップ会「i³-Mechatronics CLUB」参加企業との連携事例をご紹介します。

当社は今後も、OTとITの融合によりお客さまの生産設備のスマートファクトリー化を実現し、経営課題解決に寄与してまいります。

メイン展示

i³-Mechatronicsを具現化した生産セル (OTとITを融合したセルシステム)

メイン展示では、YRMコントローラ・YASKAWA Cockpitを活用することで、複数の装置とロボットで構成されたセルの制御とデータの収集・分析、その結果のモーションへのフィードバックによる自律分散型のセルを構築できることを紹介しました。さらに、セルのデータをIT層へ連携させることで、実績管理や、データを基にした最適な生産計画の立案・実行が実現できることを紹介しました。



自律ロボット MOTOMAN NEXTシリーズ

ロボット自身が状況を把握し、自ら判断・計画しながら最適な方法で作業を完結させるMOTOMAN NEXT。形状や大きさにばらつきがある野菜に柔軟に対応し箱詰めを行うデモを行い、状況変化に応じた作業変更の実現をご紹介します。



i³-Mechatronicsコンセプトコーナー

変種変量生産・品質の安定化・省人化などお客さまの経営課題を解決するためのi³-Mechatronicsソリューションをご紹介します。タッチパネルを操作しながらお客さまの経営課題にあった具体的な事例をご紹介します。特に、自社実践事例として2024年3月に稼働開始したロボット第4工場でのi³-Mechatronics実践動画は、多くのお客さまから関心をいただき、i³-Mechatronics実現による成果をご理解いただきました。

安川グループとの協働による経営課題の解決

設備稼働情報を収集し製造効率を支援するシステム Y's-SF Equip

製造現場の課題や製造ロスを見視化する設備管理システム Y's-SF Equipをご紹介します。

排除機構付き・反転機構不要なAI画像判定システム Y's-Eye コンパクトW

検査と排除機構を一体化した省スペース設計のAI画像判定システム Y's-Eye コンパクトWをご紹介します。

出展社セミナー (講演者: (株)アイキューブデジタル 伊井社長)

「デジタル変革の力 ～データ活用が導く製造現場自動化と新たな価値～」をテーマとして、同社の生産スケジューラとMES(製造実行管理システム)の導入事例をご紹介します。

立ち見ができるほどの大盛況で、多くのお客さまにご聴講いただきました。

YASKAWA

株式会社 アイキューブデジタル

生産現場の自動化・最適化を実現する
「デジタルシステムインテグレータ」



パートナー企業との連携事例

i³-Mechatronics を実現する、各エンジニアリング階層のパートナーとの連携事例をご紹介します。

- ・日本アイ・ビー・エム株式会社×株式会社エクサ
- ・富士ソフト株式会社
- ・株式会社豆蔵
- ・高丸工業株式会社
- ・株式会社FingerVision

● お問い合わせ先：営業本部 CRM戦略推進室 TEL: 06-6346-4520

展示会出展レポート

World Meets Energy
SMART ENERGY WEEK 2025
スマートエネルギー WEEK

PV EXPO 春 第20回 国際 太陽光発電展

第20回 PV EXPO

2025年2月19日(水)～21日(金)

会場／東京ビッグサイト

主催／RX Japan 株式会社

ホームページ／<https://www.wsew.jp/hub/ja-jp/about/pv.html>

2月19日(水)～21日(金)、東京ビッグサイトで開催された「PV EXPO [春] 第20回[国際]太陽光発電展」に出展しました。本展示会は世界中から太陽光パネル、施工用資材、O&M技術、周辺機器(パワコン、ケーブルなど)を取り扱う企業が一堂に会する展示会です。

当社ブースでは、主力製品かつ依然として需要の高い自家消費型太陽光発電用パワーコンディショナ「Enewell-SOL P3A 25kW」の実機4台を実際に架台に設置し、周辺機器も含め具体的な施工イメージを表現した展示を行いました。さらに、Enewell-SOL P3Aを用いた安川メカトロニック末松九機(株)西日本本社ビルのNearly ZEB*事例について、パワコンの遠隔監視・操作を可能にする「Enewell Gateway / EneLeaf Cloud」とともにご紹介しました。Enewell-SOL P3Aの優れた“高速負荷追従制御”による無駄のない自家消費に多くの注目が集まりました。

そのほかにも、蓄電システムへのパワコン導入実績や、「Enewell-SOL P2H 三相絶縁型9.9kW」の後継機種となる新製品の参考展示を行いました。

太陽光関連以外にも、当社の省エネ機器(インバータ、PMモータ)を紹介し、ソリューションコンセプト「i³-Mechatronics」の視点でのデータ活用により、工場全体のエネルギー需給の最適化を図る提案を行いました。

国内外から多くの方々に足を運んでいただき、当社製品に興味を持っていただく非常によい機会となりました。今後も当社の製品・技術をより多くのお客さまに知っていただくため最新の取組みや情報をお届けしてまいります。

※ZEB: Zero Energy Building の略で、快適な室内環境を実現しながら消費するエネルギーをゼロにすることを旨とした建物を指す



● お問い合わせ先：インバータ事業部 ソリューション戦略部 環境エネルギー機器企画課 TEL: 093-616-3336

欧州やアジア地域での利用や大型の機器にも対応 Σ-Xシリーズ 400V入力仕様を発売

当社は1992年に業界に先駆けてオールデジタルサーボ「ACサーボドライブ Σシリーズ」を製品化し、高性能、高機能、小型化を実現したことで多くのお客さまからご好評をいただいています。Σシリーズはお客さまのニーズの変化に合わせて進化を続け、2021年3月には更なる高機能と高性能化に加え、センシングデータを活用する機能を搭載した「Σ-Xシリーズ」を製品化しました。

このたび、Σ-Xシリーズの制御性能と使いやすさをよりグロー

バルにご提供するため、400V入力仕様のサーボモータ・サーボバックを新たにラインアップし、4月17日から販売を開始しました。欧州や一部のアジアなど電源電圧400Vが主流の地域でもご使用いただけるよう、CEマーキング、UL規格、RoHS指令、KCマークといった各地域の規格にも対応しています。これにより、海外向けの設備のほか、大型の機器などにも降圧トランスなしで幅広くご使用いただけます。



ACサーボドライブ Σ-Xシリーズ 400V入力仕様

主な用途 電源電圧400V級の欧州やアジア地区の装置や設備

- 半導体・液晶製造装置
- 電子部品実装機
- 工作機械
- 金属加工機
- 包装機
- 産業用ロボット
- その他一般産業用機械

グローバルにお使いいただける 電源電圧400V級に対応

電源電圧400V級に対応しており、欧州やアジア地区を始めとするグローバル向けの装置にそのまま(降圧トランスを使わず)ご使用いただけます。

大幅に進化した Σ-Xシリーズの機能・性能

①業界最高のモーション性能

- サーボドライブの重要な評価指標である速度応答周波数は3.5kHz(世界最高レベル)を達成し、指令に対する追従性が上がり、装置が安定的に稼働し生産性が向上します。サーボモータの最高回転速度が7000min⁻¹となり装置の駆動速度が向上し、タクトタイムの短縮、生産性が向上します。分解能が従来の24bit(1600万パルス/回転)から業界最高レベルとなる26bit(6700万パルス/回転)となるエンコーダを搭載し、停止精度が向上し更に滑らかな動きを実現します。
- 装置性能を最大限(高速・高精度)に引き出すために必要なサーボ調整機能を進化させることで、今まで調整が難しかった機構も含めて、簡単に最適で安定的なサーボ調整を短時間で行うことが可能となりました。

②サーボから始めるデジタルデータソリューション

- 装置の予防保全や生産品質向上のためには装置から様々なデータを取ることが重要となり、Σ-7から強化されたデータ検出機能によりサーボがセンサーとなります。
- センサーネットワークのΣ-LINK IIIにより、エンコーダ信号線に各種センサーやI/O機器などの機械側に設置される機器を接続可能となりました。省配線とエンコーダに同期した高速なセンサーデータを活用することにより更なるシステムの高機能・高性能化を実現します。
- 装置の異常を事前に感知するためにΣ-Xでは様々なセンシング機能、環境・寿命モニタを充実しました。Σ-Xでは異常検知機能により、装置の変化で異常を検知することができます。

※EtherCATは、Beckhoff Automation GmbHの商標です。

● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 ソリューション戦略部 事業企画課 TEL: 04-2962-5470

高品質な細胞医療製品の製造と研究開発期間の短縮を目指す 安川電機とアステラス製薬 細胞医療製品の 製造プラットフォームの開発および提供を行う 合併会社設立に関する契約締結について

当社とアステラス製薬株式会社（以下 アステラス製薬）は、汎用ヒト型ロボット「まほろ」を活用した、細胞医療製品の製造プラットフォームの開発、およびスタートアップやアカデミアにプラットフォームの提供を行う合併会社設立に関する合併契約を締結しました。

製薬業界における細胞医療の事業化において、細胞の製造には複雑な作業プロセスが必要であり、製造の正確性・再現性に課題があります。また、製造施設への技術移管に際して、専門技術を引き継ぐ必要性や、時間・コストがかかることが大きな障壁となっています。両社は、2024年5月に締結した覚書に基づき、両社の強みを活かして、上記の課題解決を加速するため、合併会社設立に向けた協議を進めてきました。

このたび設立する予定の合併会社は、アステラス製薬の細胞医療の研究開発および製造に関する知見と、当社の子会社であるロボティック・バイオロジー・インスティテュート株式会社が開発した汎用ヒト型ロボット「まほろ」を活用し、細胞医療製品の

製造プラットフォームの開発および提供を行います。なお、合併会社の設立は、必要な規制当局の承認、およびその他のクロージング条件の充足を前提としています。

当社「まほろ」の提供を通じて、これまでがんゲノム診断前工程、iPS細胞培養、PCR検査等医療検査工程などの自動化ソリューションを提供してきました。今回の合併会社の設立を通じて、既存のライフサイエンス分野に留まらず細胞医療領域におけるロボットの活用事例の拡大を目指します。

アステラス製薬は、合併会社の設立を通して、細胞医療の事業化が抱える課題解決の一助となる細胞医療製品の製造プラットフォームの構築に取り組みます。さらに、アカデミアやスタートアップ企業を、プラットフォームの開発と提供によって支援します。最先端技術と、アステラス製薬の細胞医療における専門性を融合し、治療選択肢がない、または限られている患者さんのために、革新的な細胞医療の実用化を目指します。



バイオ向け双腕ロボット「まほろ」

合併会社の概要(予定)

社名	未定
資本金	45億円(資本準備金含む)
出資比率	アステラス製薬60%、安川電機40%
設立予定日	2025年9月
事業内容	細胞医療製品の製造プラットフォームの開発、およびスタートアップやアカデミアへのプラットフォームの提供

- 「まほろ」により精度・再現性の高い製造プロセスを検討し、デジタル化した製造プロセスをAIにより最適化
- 最適化された製造プロセスに関するデジタル情報を、各国のGMP※1基準に適合する「まほろ」へ正確に技術移管(One Click Transfer※2)し、細胞医療製品の製造を実現するプラットフォームを開発
- ビジネスパートナーであるアカデミアやスタートアップ企業が保有する細胞医療製品候補の製造プロセスの開発および、各国のGMP基準に適合した治験薬の製造

詳細資料(PDF)



詳細資料(動画)



※1 GMP(Good Manufacturing Practice) : 医薬品を安全かつ高品質に製造するために作られた基準

※2 One Click Transfer : 確立された製造プロセス情報を作業員への対面で実施するトレーニング等を経ずに製造所へ迅速に移管すること

● お問い合わせ先：コーポレートブランディング本部 広報・IR部 TEL: 093-588-3076

BEYOND Motion Control. – 制御の想像を超えた、その先へ – MECHATROLINK協会 2025年度総会開催案内

当社が開発・製品化したMECHATROLINKを世界に普及させるために、2003年に発足し2005年に設立されたMECHATROLINK協会は、製品開発メンバーおよびユーザーで構成される組織です。当社を含む8社の幹事会社を始め、約3,700社の会員企業が参画しています。

MECHATROLINK協会では、下記要領にて2025年度の総会、講演会ならびに懇親会を開催します。参加費用は無料となっておりますので、是非とも多くのメンバー様にご参加いただけますよう、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

MECHATROLINK協会 総会

- 開会挨拶 (MECHATROLINK協会幹事長)
- MECHATROLINK協会活動報告／計画 (MECHATROLINK協会事務局代表)
- 新製品紹介 (MECHATROLINK協会会員)
- 質疑応答
- 休憩 ※会場後方でデモ展示をご覧ください。

基調講演

「もう逃げられない、欧州サイバーレジリエンス法がもたらす産業分野のサイバーセキュリティ対策」
Moxa Japan 合同会社
プロダクトマーケティング部 部長 長澤宣和様

特別講演

「ロボティクスと物流自動化におけるAIの応用」
Rapyuta Robotics 株式会社
VP of Product バスデヴァン ブラビーンクマル様

懇親会

立食パーティー・歓談
※会場準備ができ次第のご案内となります。

協会ホームページから
事前参加申込みが
必要です。



※定員になり次第、締め切りとなります。
※1社から複数名の参加も可能です。

申込方法
MECHATROLINK協会ウェブサイト
<https://www.mechatrolink.org/jp/index.html>

申込期日
2025年5月28日(水)まで

日時
2025年6月5日(木) 13:00～18:00

会場
秋葉原UDX (東京都千代田区外神田4-14-1)
6F「UDXカンファレンス」Room A+B+C



JR秋葉原駅(電気街口)から徒歩3分
東京メトロ銀座線 末広町駅(1番出口)から徒歩3分
つくばエクスプレス 秋葉原駅(A1出口)から徒歩3分
東京メトロ日比谷線 秋葉原駅(3番出口)から徒歩4分

前回の会場の様子



● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 ソリューション戦略部 パートナ拡大推進課 TEL: 04-2962-6359

マシンの“鼓動”が聞こえる – The Beat of the Machine – MECHATROLINK協会 「第10回 機械要素技術展[名古屋]」出展報告

MECHATROLINK協会(MMA)は、2025年4月9日(水)～11日(金)にポートメッセなごでで開催されたものづくりワールド[名古屋]の「第10回 機械要素技術展[名古屋]」に出展しました。

オープンフィールドネットワーク「MECHATROLINK」の特長であるモーション制御と、スマートファクトリーの実現に最適な技術と、その応用についてご紹介しました。ブースでは、安川電機を含むメンバー企業3社によるMECHATROLINK対応製品のデモ展示があり、来場者に詳しくご説明しました。会期中には、新規のお客さまやMMAメンバー企業の関係者、メルマガ読者や同展示会の他出展者など多くの方にお越しいただきました。



株式会社安川電機
《協賛出展企業》 横河電機株式会社
モベンシス株式会社



● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 ソリューション戦略部 パートナ拡大推進課 TEL: 04-2962-6359



期待の新メンバー入部！

陸上部のメンバー紹介や大会結果、スケジュールなど詳しい情報は陸上部公式サイトでご確認ください。
<https://sports.yaskawa.co.jp/track-field/>



》個人レース

元旦のニューイヤー駅伝が終わり、選手たちは自身が目標とする各種レースに向けて始動しました。

2月9日(日)開催の第53回全日本実業団ハーフマラソンでは漆畑瑠人選手が更に記録を伸ばし1時間00分47秒をマーク。古賀淳紫選手、鈴木創士選手が保持していた安川電機陸上部歴代最高記録(安川記録)を見事に更新し、チーム主軸であることを証明しました。

》EXPO EKIDEN

3月16日(日)に実業団チームと大学生チームによる史上初の駅伝大会「大阪・関西万博開催記念ACN EXPO EKIDEN2025」に出場しました。序盤から苦しい展開となってしまう、レースの

流れをつかみ切れず10位と悔しい結果となりました。この経験を次に活かし、課題を一つずつ克服していきます。

》新チーム始動

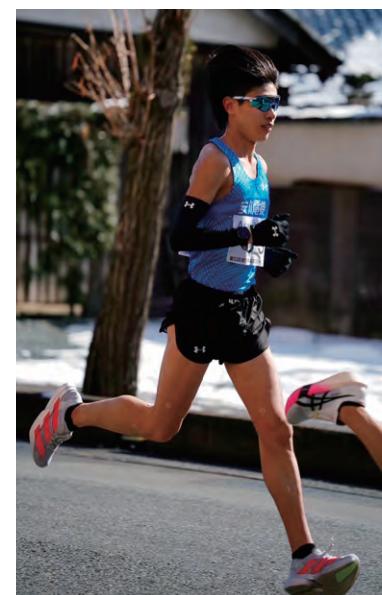
2025年4月1日から、安川電機陸上部に新たな戦力として阿部陽樹選手(中央大卒)が入部しました。学生時代は駅伝でも活躍。堅実な走りや勝負強さを持ち味に、大学4年間で力を着実に付けてきた実力者です。期待の新人として今後の成長が期待される選手です。

昨シーズンあと一歩のところまで果てせなかった全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)8位入賞を勝ち取るためにチーム一丸となって日々精進していきます。引き続き応援のほどよろしく願います。



写真左上から 助川拓海選手、鈴木創士選手、阿部陽樹選手、笠原大輔選手、漆畑瑠人選手、佐藤俊輔選手、マゴマ ベヌエル モゲニ選手、九嶋恵舜選手、合田棕選手、古賀淳紫選手、大畑和真選手、辻文哉選手

安川記録を更新した漆畑瑠人選手



選手コメント

あべ はるき
阿部 陽樹

生年月日：2002年9月30日
出身地：山口県
出身校：西京高校(山口県)→中央大学
自己ベスト：5000m 13分49秒28
10000m 28分26秒58

1年目のルーキーイヤーとなりますが、先輩方に負けられないような走りやチーム目標に貢献したいと思います。応援のほどよろしく願います！



YASKAWA

自家消費するなら、 安川電機の新型パワコン を選びませんか!?

電気は「作って、使う」時代へ

太陽光発電のベストパートナーとして、ご好評をいただいているEnewell-SOLシリーズ。
中でも、Enewell-SOL P3A 25kWは自家消費に特化しており、発電量の最大化に貢献。
日本の電源環境に適した、安心の日本製 & 充実したサポートとサービスを提供します。

パワコン内蔵の高速自家消費制御で買電の目標値「ゼロ」に



費用を最小化

初期費用を最小化、トータルコストを低減



発電電力の最大活用

発電電力を自家消費へ最大限活用します



簡単保守・安心サポート

スマートデバイスで簡単監視/操作が可能です

詳しくは安川電機の
製品・技術情報サイト
e-メカサイト内
特設サイトにて



[https://www.e-mechatronics.com/
product/environment/special/self-consumption/](https://www.e-mechatronics.com/product/environment/special/self-consumption/)

太陽光発電用パワーコンディショナ 三相200V級

Enewell-SOL P3A 25kW



株式会社 安川電機

インバータ事業部 ソリューション戦略部 環境エネルギー機器企画課
【公式サイト】 www.yaskawa.co.jp 【製品・技術情報サイト】 www.e-mechatronics.com

YASKAWA
NEWS

No.350

発行日：2025年5月26日

発行所：株式会社 安川電機

〒105-6891 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー8階 TEL: 03-5402-4502

編集責任者：営業本部 CRM戦略推進室 西 慶太 制作：安川オピマス株式会社

次号 2025年8月 発行予定

既刊号は公式サイトで公開中

